

なぜ人工衛星を打ち上げるの？
 どんな仕事をしているの？
 私たちの暮らしに役立っているってホント？
 人工衛星が地球を救うって!?

今日は傘が必要？夜には雪が降るみたい？みぞれだったらブーツかな？
 テレビやインターネット、ラジオや新聞でおなじみの天気予報だけど、
 とくに雨や雪の予報は気になるよね！そんな身近な「水」の情報が、
 最近では思いがけない分野で活用されているのを知っていましたか？

魚の居場所もバッチリ予測!?

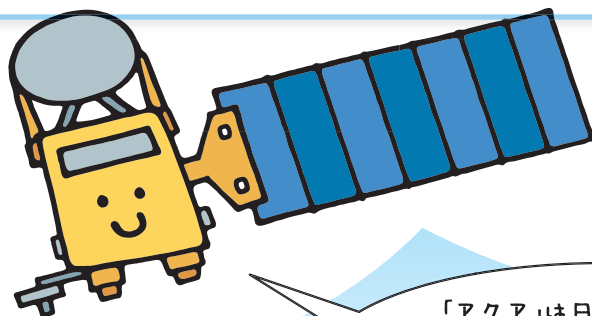
水の動きで地球がわかる

地球は表面積の70%が水で満ちている、まさに「水の惑星」。そして、その水は常に変化しながら環境に影響をあたえ、台風、豪雨、水不足、干ばつなど、災害のきっかけにもなっているんです。また、まわりを海に囲まれ海の幸に恵ま

れた日本列島では、海流や海面温度の変化が気候や漁獲量の変化となって表れることも。このように私たちの暮らしに深く関わっている水の変化、これを宇宙からチェックしているのが『地球観測衛星』なのです。

実はこんなに身近で大活躍！衛星の地球観測

- 気象庁では水蒸気量・降水量の情報により数値天気予報をおこなっています。
- コンビニエンスストアでは、天気予報を元にお弁当などの発注量を決めています。
- 海上保安庁では流水の動きをチェックして、漁船や港湾に報告しています。
- アジやサバなど回遊魚には好きな水温があるため、漁船は衛星のデータを参考に漁場を決めます。

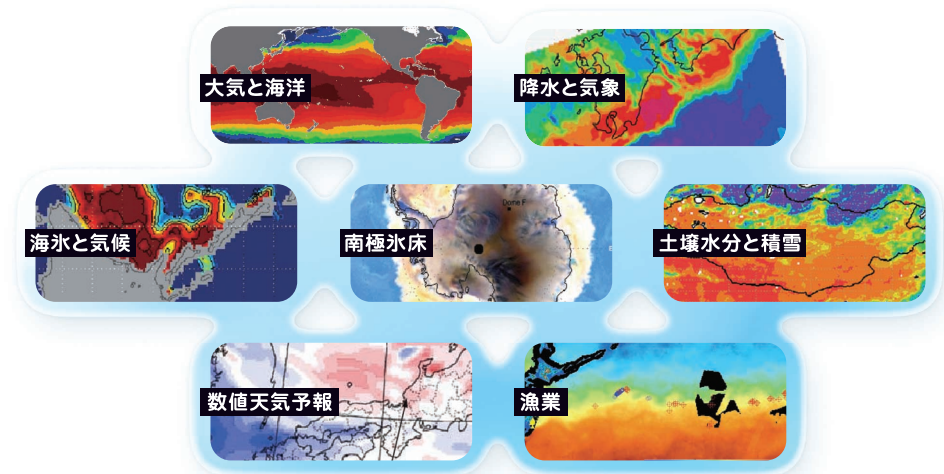


「アクア」は日本とアメリカとブラジルの国際協力プロジェクト。地球全体の大气や水の変化を観測して地球を見守っているんだ！

地球のあらゆる現象を観測し、地球のなぞを解いていく。

海洋、大気、地表の変化など、いろいろな条件がパズルのようにはからみ合っ起こる、地球の気候の変化。そのなぞを解くカギは、地球のあらゆる現象を注意深く観測しつづけること。2002年にNASAが打上げた地球観測衛星「アクア」は、日本・アメリカ・ブラジルの国際協カ

プロジェクト。ラテン語で「水」を意味する「アクア」が示すとおり、大気や水に関する様々な観測データを取得しています。このアクアには、JAXAの開発した改良型高性能マイクロ波放射計（AMSR-E）が搭載されていて、海面水温や土壌分布などを地球全体にわたって観測することができます。



地球はまだまだ知らないことだらけ！

宇宙から初めて雲の映像を捉えて40年以上、人工衛星からの地球観測はデータの質・量ともに発展してきました。でも、地球にはまだ分からないことがいっぱい。地球温暖化や気候の変動など、地球上で起こるさまざまな現象を解き明かすには、長い年月をかけて観測を続けなければなりません。地球観測衛星はそんな地球環境をずっと見守り続けます！

